

第7回常任理事会

日時 平成21年11月18日（火） 19:00～21:00

会場 宮崎市郡医師会臨床検査センター 食堂

参加 日野浦 岩田 津曲 日高 田邊 花牟禮 松尾 内山 伊豆 清山

欠席 佐藤

- 1) 開会
- 2) 第6回常任理事会議事録確認：事前にメールにて送付済み
- 3) 報告事項

1. 会長挨拶

- ・健康ふくしまつりや宮崎県医学検査学会の準備や、HP作成などで組織、学術、庶務、会計、事務局等大変でしょうが、学会開催に向けてよろしく願いしたい。
- ・日臨技会長選挙は九臨技、宮崎県は現職小崎会長を推す方向である。

2. 事務局連絡

- ・平成21年度第2回九臨技会議議事録を添付しているので確認していただきたい。
- ・健康まつり：来場者11,13余人、スタッフ1,268人、75団体の参加があつて無事に終了した。
- ・11月8日に糖尿病無料検診と医療相談が山形屋四季ふれあいモールで開催されたが300人弱（290人程度）の参加があつた。古賀病院の中村技師より今後のこともある為、宮崎県医学検査学会時に参加協力者を募りたいと日高事務局長に相談があつた。
- ・現在の会員登録用紙提出状況は163枚である。
- ・日臨技エイズ啓発ポスターが送付されたてきたので各施設に2～3枚ずつ配布した。
- ・平成21年度形態検査部門研修会決算書報告がきているので確認いただきたい。
- ・九州地区卒後教育セミナー血液研修会のJAMTIS登録が終了した。
- ・平成21年度宮崎県公衆衛生功労者に「永友啓子氏」の決定通知が届いた。先日、県庁にて表彰式が行われた。
- ・日臨技会長選のちらしが100枚ほど事務所にきているので学会のプログラムと一緒に配布したい。
- ・12月18日まで生活習慣病予防啓発に関する事業の参加文書を提出しなければならない。
- ・九臨技時期学術部門責任者の名前を書いて12/25日までにお知らせ下さいとのこと。現役員が守田さんに継続の意向と宮崎から2名推薦するにあたり各研究班長と大学病院に該当者を確認する。また、全国の分野委員の推薦方法について長迫さんに確認する。
- ・第59回日本医学検査学会について一般演題が現在30題くらいしか演題がきていないので発表をお願いしますとのこと。
- ・来年度の日本医学検査学会の座長推薦（4名）が11月20日期限である。未だ決まっていない状況であるが、この時点で該当者なしとして返答しない。
- ・日臨技から各賞候補者推薦について案内がきている→津曲副会長へ
- ・日臨技検査技師連盟の加入について、会員登録分きているので送付したいと思う。理事の分

については加入済みである。

- ・プライマリ・ケアの請求1万円がきている。

3. 庶務

- ・10月の各地区および研究班活動は6件、未入金者は20名で先月督促状を送付したが未だ入金を確認されない状況である。
- ・日臨技のHPに平成22、23年度の会長選挙の投票状況かてており、宮崎は現時点4票であった。
- ・ホームページ管理移行状況について
(現在) 研修会案内をクリックすると研修会が文書で表示されていた。



(提案事項)

- 行事予定をカレンダー形式に一本化し行事によって色分けすることで月ごとに一括でみれるようにしたい。 右上のリストをクリックするとリストにも切り換え可能。
- 常任理事、地区理事、各研究班長にログインメールとパスワードをお知らせして閲覧、情報の書き込みができるようにしたい。(これは行事の企画書を省略化するものではなく、情報の共有を目的とする)



- ・HPの変更したことの周知徹底をはかる必要がある。
- ・運用マニュアルだけで理事の理解が可能であるか？ 説明会の要望がでるか？
- ・来年度からの新役員からパスワード変更が必要なのでは？
提案事項に対して上のような意見がだされた。

4. 会計

- ・賛助会員入金があった。
- ・広告掲載申し込みについては今月はなし。
- ・宮崎県プライマリ・ケア会費について1万円振り込んだ。
- ・健康ふくしまつりは、総負担額は12万円弱である。
- ・糖尿病無料検診は、交通費として30,000円負担した。(3,000円×10名分)

5. 組織

- ・平成21年度AED講習会県西地区進捗状況については、11月12日に2回目の実行委員会を開催し広報活動(イベント情報のところにアップし閲覧可能)を開始した。 実行委員会の中で、当日マスクと消毒用エタノールが準備できるか検討してくださいとのことであった。 ちらし配布は小林地区理事の西田さんをお願いした。 公文書を作成、送付は伊豆理事に進めてもらっている。
- ・平成21年度日臨技都道府県公益委託事業AIDS、STDに関する事業については、日臨技公益事業企画書を九臨技の長迫さんに送付して先に進めている状況である。 企画が通ったかどうか

かは事務局にまだ連絡がきていないのでわからないが、延岡地区の石田理事を中心にポスター作製、ポケットティッシュ、コンドーム配布の準備をしている。このときに絆創膏と一緒に配布していただきたい。

- ・延岡で組織と一般検査研究班、情報処理研究班、公衆衛生研究班、病理細胞診研究班の合同研修会を開催し報告書と決算書が地区理事の石田さんからあがっている。

運営費は、研究班費からまかなったようである。

せっかく研究班があるので研究班の中身に沿った勉強会を個別開催した方がいいのではないかと意見もあったが、研究班によっては人数が少ないところもあるので難しい部分もある。

- ・日臨技各賞受賞候補者の推薦については本日資料をもらったため、永年勤続表彰については調べて選定したいと思う。叙勲についても村角さんか日之浦会長を推薦する予定である。

6. 学術

- ・宮崎県医学検査学会の抄録受付は本来11月10日までであったが、演題数が多くて2日で切方向を出したことに混乱が生じた。開会の辞の際に一言申し添えたいと思う。来年は、早めに一般演題を募集した方が対応をとりやすい。今回はオーソがデモをしたいということでランチョンセミナーが実現した。
- ・11月18日県学会各施設責任者宛てに、学会プログラム配布した。
- ・学会抄録については各自宮臨技HPからダウンロードしてもらう。
- ・ランチョンセミナーは引換券を受付に置くので各自とってもらうようにし、ある程度の時間で締め切って注文することとする。時間はオーソに確認してHP上で掲載する。
- ・一般演題を発表した人に新しいCD-Rを1枚配布して、宮臨技会誌に載せる投稿用の文書を提出してもらう。(CD-Rは宮臨技で購入)
- ・特別講演に懸垂幕を作成する。講師の日高政典感染症対策監の略歴を内山理事で確認いただく。同健康増進課の山田さんが開始30分前に連れてきてくれるので日野浦会長と岩田副会長でお迎えする。謝礼は2～3万円で用意する。
- ・役員の集合時間は朝8時、受け付けを伊豆理事、清山で行い、進行を内山理事、開会宣言を岩田副会長、閉会宣言を津曲副会長、音響・照明は花牟禮理事と佐藤理事で行う。
座長は各研究班長、タイムキーパーは1人 or 2人、スライド映写は本人が行う方が時間的ロスが少ない。点灯ライトは大学病院検査部から借り、手元用ライトは医師会検査センターが準備する。

7. 審議事項

- ・東洋羽毛賛助会員登録をしたいとの連絡があるが、臨床検査と直接的な関係性もなく、もし布団販売等の目的であれば遠慮いただく方向とした。
- ・来年度の執行部からは、日臨技から受けて宮臨技が開催した事業に係る残金はオフィシャルな扱いとし、研究班で管理するのでなく宮臨技会計で管理するようにお願いしたい。

次回開催 12月16日(水)